

平成27年度学長裁量経費採択事業・富山大学ヘルン(小泉八雲)研究会主催・第1回国際シンポジウム

ラフカディオ・ハーン研究への新たな視点

日時: 2016年2月13日(土)・14日(日) 10:00-17:00(両日とも)

場所: 人文学部第6講義室

13日(土)

第1セッション「ラフカディオ・ハーンとフランス」

マルチニクにおけるラフカディオ・ハーン作品の受容(仏語)
ルイ＝ソロ・マルティネル(早稲田大学)

ボードレール・ハーン・谷崎—理想の女性をめぐる—
北村 卓(大阪大学)

オノレ・ド・バルザックとラフカディオ・ハーン(仏語)
オード・デリユエル(オルレアン大学)

ラフカディオ・ハーンのフランス文学講義
濱田 明(熊本大学)

カミュー・フラマリオンの読者としてのラフカディオ・ハーン(仏語)
クリストフ・ガラベ(大阪大学)

ラフカディオ・ハーンとブルターニュ
梁川 英俊(鹿児島大学)

* 仏語講演には通訳が付きまます。

14日(日)

第2セッション「ラフカディオ・ハーン研究への新たな視点」

物語のポライトネス—小泉八雲の怪談を事例として

小泉八雲と芥川龍之介

ラフカディオ・ハーンとケルト神話—異界との交流をめぐる—

ボードレール、ハーンそしてバンディ

ラフカディオ・ハーンとドイツ文学

ハーンの伝記記述と英国支配下のイオニア諸島

W.B. イェイツ、アーネスト・フェノロサとラフカディオ・ハーン: 東西に響く三重奏
真鍋 晶子(滋賀大学)

大正期における「小泉八雲」—アイルランド文学受容と「ケルト」像の移入との
関わり—
鈴木暁世(金沢大学)

座談会

「島根・熊本・富山の各大学のこれまでの取り組みとハーン研究の将来展望」
長岡真吾(島根大学)・濱田 明(熊本大学)・中島 淑恵(富山大学)

問合せ: 富山大学人文学部中島研究室 (toshie@hmt.u-toyama.ac.jp または 090-6814-5780 まで)